

1 重要な会計方針

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

固定資産の減価償却については定率法を採用している。ただし、建物、無形固定資産については定額法を採用している。所有権移転外ファイナンス・リース取引のリース資産についてはリース期間定額法を採用している。

(3) 引当金の計上基準

退職給付引当金については期末退職給与の自己都合要支給額に相当する額を計上し、賞与引当金については6月賞与支給予定額の3分の2に相当する額を計上している。

また、貸倒引当金については期末の営業債権額に対し法定繰入率を乗じて得た額を差額補充方式で計上している。

(4) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。ただし、リース料総額が3百万円以上のファイナンス・リース取引のリース資産については、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

①所有権移転ファイナンス・リース取引

リース資産の内容

その他固定資産

有料駐車場における駐車場精算設備（什器備品）である。

②所有権移転外ファイナンス・リース取引

リース資産の内容

その他固定資産

リフレッシュプラザにおけるトレーニングマシン（什器備品）である。

業務用自動車コンピューター（車両運搬具）である。

リース債務は、固定負債に表示している。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっている。

2 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建 物	1,255,444,567	163,955,953	1,091,488,614
建物附属設備	816,450,474	545,686,194	270,764,280
構築物	164,413,408	114,782,232	49,631,176
車輛運搬具	4,493,585	4,383,815	109,770
什器備品	107,905,939	98,797,070	9,108,869
リース資産	16,914,637	11,812,010	5,102,627
出資金	57,000	0	57,000
合 計	2,365,679,610	939,417,274	1,426,262,336

3 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

補助金等の名称	交付者	前期末 残高	当期 増加額	当期 減少額	当期末 残高	貸借対照表上 の記載区分
特定求職者雇用開発助成金	富山労働局	0	450,000	450,000	0	
とやま自遊館運営費補助金(駐車場土地借上費)	富山県	0	3,603,740	3,603,740	0	
とやま自遊館駐車場確保対策事業費補助金	〃	0	1,323,000	1,323,000	0	
財団法人富山勤労総合福祉センター事業費補助金	〃	0	1,600,000	1,600,000	0	
とやま自遊館コピュースタム改修等整備費補助金	〃	0	936,776	936,776	0	
とやま自遊館建設資金元利償還金補助金	〃	0	85,289,087	85,289,087	0	
とやま自遊館会議室整備事業費補助金	〃	0	2,500,000	2,500,000	0	
とやま自遊館エレベーター安全対策工事費補助金	〃	0	521,745	521,745	0	
とやま自遊館運営費補助金(駐車場土地借上費)	富山市	0	3,603,740	3,603,740	0	
とやま自遊館コピュースタム改修等整備費補助金	〃	0	936,776	936,776	0	
とやま自遊館運営費(人件費)補助金	〃	0	7,326,300	7,326,300	0	
とやま自遊館建設資金元利償還金補助金	〃	0	85,289,087	85,289,087	0	
とやま自遊館会議室設置等整備費補助金	〃	0	2,500,000	2,500,000	0	
とやま自遊館エレベーター安全対策工事等整備費補助金	〃	0	521,745	521,745	0	
合 計			196,401,996	196,401,996		